

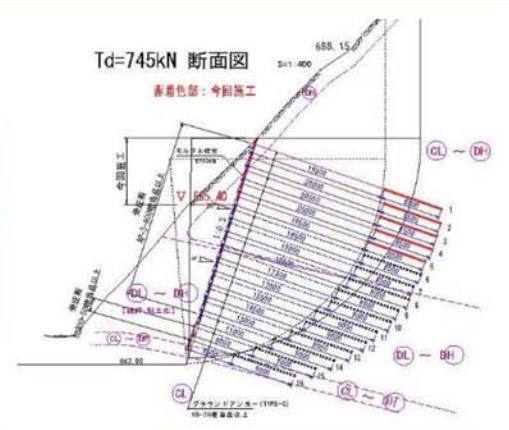
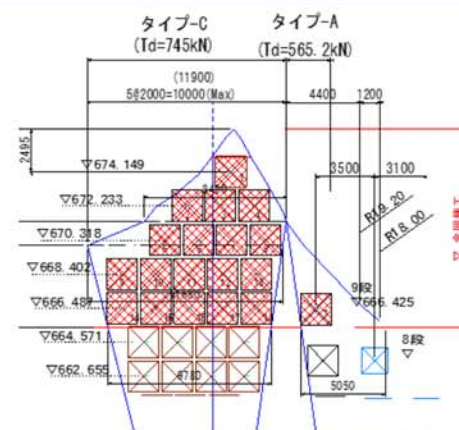
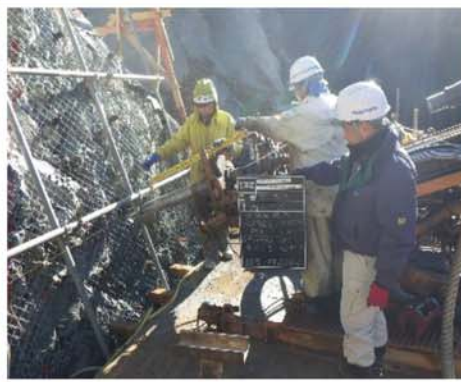
カモシカ通信



地域のみなさま、あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
昨年は2月に南岸低気圧による大雪、地球温暖化の影響と考えられる局地的な豪雨による南木曾や広島県などの土石流災害、また、御嶽山の水蒸気噴火や県北部での地震災害など降雪量、降水量も極値を更新し被災の規模も大きくなっています。
何時何処で何が起こるかわからない一寸先は闇という状況ですので、災害に備えた準備を常日頃から考えておく必要性を痛感しております。
注)
今年は阪神淡路大震災から20年、また、この地域では「池口崩れ」から1300年の節目の年にあたります。災害の記憶が風化しないよう節目は振り返りが必要と思います。
事務所では、水害・土砂災害に備えた地域づくりについてイベントが計画されています。当地区の特徴や歴史にふれる良い機会だと思いますので是非参加をお願いします。
最後に皆様のご多幸を御祈念し、簡単ではありますが年頭の挨拶とさせていただきます。
平成27年1月 遠山川砂防出張所
松葉 志郎

現場紹介「平成24年度天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事用道路工事」の現場を紹介します

本工事はツバタ沢の流域における、土石流対策施設の砂防堰堤の施工に必要な工事用道路を造っています。現在、工事用道路は完成し、砂防堰堤上部法面の切土を行なっています。切土斜面は3~4分の急勾配のため、斜面を安定させるためにグラウンドアンカー工の施工を行っています。「グラウンドアンカー」は地中深く削孔した孔中へ、「PC鋼より線」を挿入しセメントミルクで固着したアンカー体と、「受圧板」を介した引っ張り力を地盤に伝達する構造となり法面を安定させます。



「南信濃自治振興センター」のホットな情報

南自治振興センターのホールに設置されている薪ストーブに火が入りました。この薪ストーブはデンマークのMorso社製で3610CBです。薪ストーブの中でも大きいものです。暖房能力としては、最大14KW(12,040Kcal/h)で90~210m²の部屋を暖めることができます。
当センターの薪ストーブの燃焼時間は概ね始業開始から午前中までです。薪ストーブの暖房能力や、薪が燃焼する炎の心理的効果など、直に体感できますので立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



全景



二次燃焼中

「第46回天龍梅花駅伝」

県下で最も早く、春の訪れを告げる梅の花が開花する季節に第46回天龍梅花駅伝が開催されます。雄大な天龍川を望みながらアップダウンの厳しい全長40.0km高低差約100mのコースを6区間、140チームが駆け抜けます。沿道からの応援宜しくお願いします。
開催日：平成27年2月15日（日曜日）
開会式：天龍中学校グラウンド 午前9:10~
スタート：天龍中学校横 午前 11:00



注)「池口崩れ」について

和銅8(715)年の梅雨のさなかに遠山川と池口川をせき止め、天然ダムが形成されました。後にそれが決壊して現在の浜松市や磐田市を中心に集落や農地が水没したという記録が残されています。
大地震で山が崩れ、遠山川のせき止め湖に木々が埋没し、現在は、当時の埋没林が河床に露出しており、直径50CM以上の大木を見ることができます。
池口崩れの発生年は「続日本紀」「日本略紀」による715年「扶桑略記」による714年と諸説あり、埋没林を年輪年代測定法で調査した結果714年であったとの調査結果も得られています。



大淵地区の埋没林